

### (3) ふくおか女性いきいき塾

実施主体	福岡県男女共同参画センター あすばる
対象者	福岡県内在住の20歳から50歳までの女性
目的	次世代女性リーダーの育成
実施時期	2012年度から継続実施（2016年度で5期目）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募により企業や地域の団体等から推薦を受けた応募者から、30人程度の塾生を選考し、7月～2月までの8カ月にわたって10回の連続講座（土曜もしくは日曜 午前・午後）を実施。</li> <li>・「男女共同参画」「リーダーシップ」「キャリア形成」等の講義を受講し、並行してグループでの課題研究に取り組み、最終回で成果報告会を行う。</li> <li>・修了生との交流会や地域の女性団体との交流会も実施し、幅広いネットワーク形成を図る。</li> <li>・修了生の名簿や成果報告書は企業や市町村へ配布し、研修の講師や地域の人材として活用を図っている。</li> </ul>
定員	30人程度
参加費	無料
情報掲載URL	<a href="https://www.asubaru.or.jp/ikiiki_juku/ikiiki_juku_users/login">https://www.asubaru.or.jp/ikiiki_juku/ikiiki_juku_users/login</a>
協働先について	なし
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1期から5期までで152人が修了</li> <li>・修了後に地方議会の議員に2人当選</li> <li>・市町村の審議会委員就任、自主活動団体立ち上げ、起業、高校・大学や企業での講演など、他多方面で活躍</li> </ul>
直接事業経費	5,320千円（2016年度）
財源	委託料（福岡県）

## 1 事業の背景

福岡県では、「福岡県総合計画」（2012年度～2016年度）に「女性がいきいきと働き活躍できること」を重要施策の一つに掲げ、福岡県男女共同参画センターあすばる（以下、あすばる）において、次代を担う女性を育成するための研修や交流の機会を提供するとともに、さまざまな分野で活躍している女性をロールモデルとして紹介することなどを通じて、チャレンジしたい女性を支援することと位置づけている。

あすばるでは、指導的地位への女性の進出促進を目指した「審議会等女性委員交流セミナー」を2011年度まで開催してきており、修了生が男女共同参画を推進する団体を立ち上げるなどして、県内各地で活動しているが、女性リーダーのすそ野を広げるためにも、次世代を育成する事業の必要性が強まってきていた。

一方で、チャレンジする気持ちがあっても職場や地域において、ジェンダーに起因する問題意識を共有することができず、孤立している女性がいることから、女性同士の「ネットワーク」を作り、仲間と集うことで突破力を持つことができ、課題解決方法を学ぶことで周囲を巻き込む力をつけることができるような事業が求められていた。

このような背景から、県の総合計画に基づいた新たな事業として、企業や地域等で活躍する次世代女性リーダーの育成を目的とした、ふくおか女性いきいき塾（以下、いきいき塾）を福岡県からの受託事業として開催することとなった。2012年度から事業を開始し、2016年度で5期目を迎えている。

学習した知識を「学び」で終わらせず、課題解決に向けた「実践」に結びつけること、企業や地域に戻ってからも活躍し続けるためのネットワーク構築を特徴としている。

## 2 事業内容

### (1) 対象・募集方法・参加費等

いきいき塾は、企業で活躍する人材と地域で活躍する人材を合わせて育成することで、さまざまなフィールドを持った女性たちが幅広いネットワークを形成することが可能となっている。次世代の育成に焦点を絞っているため、対象を20歳～50歳の女性に限定した。また、所属企業や団体等からの推薦を必須としており、書類選考、面接選考を経て、参加者を決定している。毎年度30人程度を選考しているが、2016年度募集した5期生は、50人を超える申し込みがあった。

募集にあたっては、募集要項を県内市町村に配布したほか、地元の働く女性向けフリーペーパーや新聞、各市町村の広報誌への掲載、後援の経済団体等を通しての広報などを行った。また、修了生がいる地域だけでなく、まだ参加がない地域、女性の活躍推進福岡県会議会員企業<sup>注1</sup>、子育て応援宣言企業<sup>注2</sup>へ直接足を運ぶなど、積極的な広報も行った。

参加費は無料であるが、県内全域から参加者が集まるため、会場までの交通費を相当額負担している受講生もいる。受講の機会を得られたことは県民が自分に投資してくれたのだと解釈し、卒塾後、推薦を受けたそれぞれの企業・団体や地域に成果を持ち帰るインセ

ンティブとなり、コミットメント意識が強くなっていると感じる。また、無料であることで企業や団体が参加者を推薦しやすい状況もみられる。

## (2) プログラムの内容

2016年度は、全10日間、約8ヵ月にわたり実施しており、プログラム実施当日は担当職員2人に加え3人の職員がサポートにあたっている。構成は大きく分けて以下の4つである。

### ① セミナー・討議

男女共同参画に関する講義をはじめ、キャリア形成、働き方改革、リーダーシップ、地域活性化と女性の活躍などについての講義を実施。プログラムの前半は学びのウェイトを高くしており、中盤から始まる課題研究につなげている。女性の活躍推進福岡県会議の女性管理職ネットワーク「WE-Net 福岡<sup>注3</sup>」メンバーによるパネルディスカッションをプログラムの初期に設定し、ロール



モデルの見える化と受講生のモチベーションアップを図っている。90分の講義の後、講師とのディスカッションを30分設けて各々の中で学びの落とし込みを行い、その後のグループワークで共有することによりさらに学びを深めている。

### ② 課題研究



学んだ内容をもとに、グループに分かれて課題研究を行う。プログラムの中盤から始まり、セミナーと並行して実施している。研究計画、フィールドリサーチ、結果の考察など、一連のプロセスを体験することで、課題解決能力や理論的思考力を高めている。研究課題は男女共同参画の課題をキーワード化したものから選択し、過去の受講生とは違った視点やアプローチで研究する。学んだ

ことをまとめるのではなく、課題を深掘りして絞り込むことが一番重要なプロセスであり、塾生の視点から、課題解決へ向けた提言を導き出している。2015年度は、地域活動、女性のキャリア形成に向けた組織環境づくり、多様な働き方、育児とキャリアアップの両立、女性リーダーの5テーマについて研究が行われた。

テーマ毎にグループ・アドバイザーを委嘱し、調査方法や進め方について助言を受けながら研究を進めている。また、あすばる職員も1人ずつ担当として入りサポートを行っている。

研究内容は、最終回の成果報告会（公開）で発表する。成果報告会には、受講生の推薦

者も参加し、成長を実感する機会となっている。

### ③ フィールドワーク

参加者は、企業で働く女性が多いので、地域とのつながりが薄い傾向がある。地域づくりの活動に触れ、県内の市町村で活躍する女性団体と交流する機会として2期目より実施している。各市町村の男女共同参画担当部局と調整の上、訪問地・団体を決定している。地域の女性団体へ若い世代が育っていることをアピールする機会にもなっている。

### ④ 交流会

開講式、修了式に合わせて、同期生同士の懇談会を実施しているほか、プログラム中盤には、前年度修了生が企画・運営する修了生全体と現役生の交流会を開催している。今年度は、修了生が現役生の悩みを聞く時間を設けるなど受講年度を超えた縦の交流を図った。

### (3) フォローアップセミナー

修了生を対象に、さらに深めたいテーマについてフォローアップセミナーを実施している。企画・運営は、前年度修了生が行い、継続した学びの場の提供となっている。プログラム修了後も参加者同士で顔を合わせ共に学ぶ機会となり、モチベーションの維持と、ネットワークをより強固なものにすることが可能となっている。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

所属する組織等からの推薦を必須とすることで、本人にとって成果を還元していきたいという意識に結びつくとともに、推薦した組織等も本人を応援する体制になるなど、相乗効果が見られる。また、前出の課題研究では、学んだことを自分の中に落とし込み、さらにグループで掘り下げていくという行程を丁寧に行っており、修了後も課題意識に基づき次の行動につなげていく仕掛けにもなっている。

加えて、修了後の出口として、複数の活躍の場を設けていることが、修了生のモチベーション維持に大きな影響を与えている。次期のいきいき塾での交流会やフォローアップセミナーの企画運営、あすばる男女共同参画フォーラムなど、あすばる主催事業のイベント企画運営の他、企業や地域での研修の講師など、それぞれの地域で力を発揮している修了生もいる。特に、県内5カ所で開催している地域での女性活躍推進を目指した「女性による元気な地域づくり応援講座事業」の企画運営に修了生が関わることで、地域における男女共同参画の活動の世代交代を促進する効果が発揮された。また、修了生名簿を各市町村に提供しており、地域の女性人材リストとして活用されている。

修了生は第1期～第4期までで122人、5期生を合わせると150人以上にのぼる。毎年3月に修了生全員に現況調査を行い、活躍状況を把握している。修了生の中には地方議会議員に当選、県や市町村の審議会委員に就任、自主活動団体の立ち上げ、起業、各種

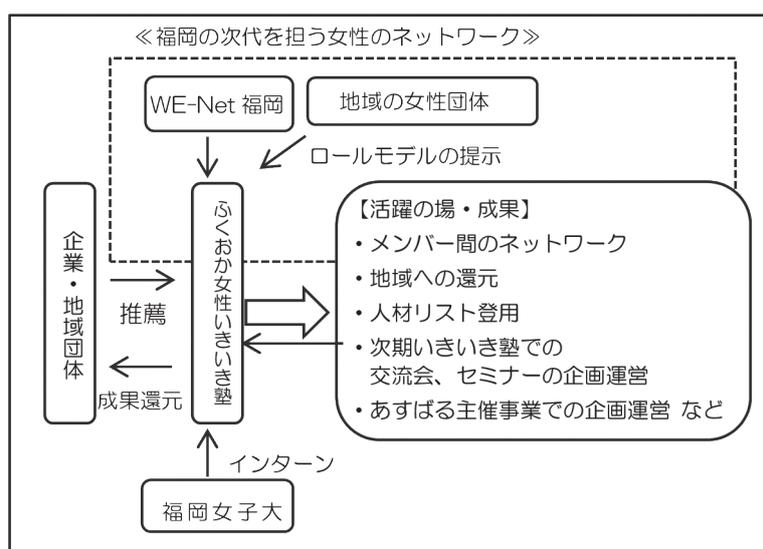
パネリスト・講師など、さまざまな場面で活躍している人も多い。お互いの活動の中で、イベントの講師やパネリストを受け合うなど、それぞれの活動を修了生ネットワークが支えている。

修了生の活躍や受講の勧めもあって、年々申込者が増えていることも成果として評価できる。

受講生同士の連携に加え、前述のセミナーにおいて「WE-Net 福岡」メンバーがロールモデルとなったり、福岡女子大学の学生のインターンをいきいき塾プログラムに受け入れるなど、世代をこえて福岡県の女性たちが連携し、それぞれに影響し合っている。

## (2) 課題

受講生の多様性拡大に向けて、地域団体で活動する受講生を増やしていくこと、修了生が企業や地域、教育機関で、そのニーズに応じて活躍できる仕組みづくりや活躍の様子の見える化などが今後の課題である。



注 1) 女性の活躍を推進することにより、企業の総合力の向上及び地域経済の活性化を図るとともに、男女ともに働きやすく、生きやすい社会づくりに産官学一体で取り組む「女性の活躍推進福岡県会議」の設立趣旨に賛同する企業

注 2) 男女従業員の仕事と子育ての両立支援に取り組む企業として、企業・事業所のトップが具体的取り組みを宣言し、福岡県が登録した企業

注 3) 「女性の活躍推進福岡県会議」の女性管理職ネットワーク。県内に事業所がある企業・団体から推薦を受けた女性たちが、会員間の交流や自己研鑽、女性の活躍推進に向けた働きかけを行っている。

## ■事業参加者インタビュー

地域団体 つむぐ。代表  
玉井 由加里さん  
2015 年度受講生（4 期生）



福岡県北部に位置する苅田町で保育士として働く玉井由加里さんは、結婚を機に博多から移住した。卒塾後、苅田町で地域団体「つむぐ。」を立ち上げ、子育て中の母親や、女性対象のセミナーを開催している。

人口約 36,000 人の苅田町は、男性が外で働き女性が家を守るという性別役割分業意識が強く、違和感を覚えていた。一方で、仕事も家事も育児も自分で完璧にやりたいと思っていた。

保育所で出会う母親たちから「働きたいけど私が家を守らなければ…」という悩みを聞くたびに、母親たちを助けて、自分にできることはないか、と考えるようになった。そこで、役場の担当職員に、保育所で母親向けに啓発セミナーを開催したいと相談したところ、いきいき塾への参加を勧められた。当時、男女共同参画という言葉も知らず、また、家事の時間が減ることで夫に迷惑をかけたくないという思いもあり受講を迷ったが、知識と仲間を得たいと思ったことや、役場の担当職員のサポート、福岡県内唯一の女性首長である町長から直々に勧められたことも後押しとなり、受講を決めた。

会場まで車で片道 2 時間半。大変だったが、夫の協力もあり乗り越えることができた。参加して得たことはたくさんあるが、一番変わったのは主語が「他人」から「私」に変わったこと。苅田町に住んでいるから…、子どもが小さいから…、と理由を他に求めるのではなく、自分がどうしたいのかを考えるようになった。また、全てを自分で抱え込まず、周りに助けを求めることができるようになった。受援力を身につけたことで、夫の協力を得ることができるようになり、子どもも成長したように感じている。

最後の成果報告会に向けて、課題研究グループで塾開催日以外にも自主的に集まってブレゼン資料を作った。直前の 1 ヶ月は、週 1～2 回集まることもあり、大変だったが、それを乗り越えたことで、大きな自信と仲間との信頼関係を築くことができたと感じている。メンバーとは、お互いに主催イベントの講師やパネリストとして協力しあうなど、交流が続いている。

地域の女性たちを巻き込んで、行政と一緒に何かしたいという夢を持っていたが、この塾に参加することで、それを実現する具体的な知識や手法を身につけることができた。いきいき塾へ送り出してくれた恩返しとして、苅田町でも成果報告会を開催した。今後、女性たちが社会とつながる場作りの継続や、ミニ版いきいき塾の実施を検討している。同期生と先輩修了生からのサポートを糧に、自分たちの活動を「見える化」し、行政セクターだけではできないことを民間セクターとして展開していきたい。

■ヒアリング実施日・場所：2016 年 12 月 14 日（水）・あすばる



## 募集要項 Information

女性が多様な分野で能力を発揮し、活躍する社会づくりに向けて、地域や企業などにおいて、今後責任ある立場で活躍する女性の人材育成を目的とする「ふくおか女性いきいき塾」の塾生（第五期生）を募集します。

### 募集人員

30名程度

### 募集期間

平成28年5月1日(日)～6月10日(金) 午後5時必着

### 応募資格

団体や企業等において、今後リーダーとして活躍が期待できる女性で、次の条件を全て満たす方です。

- (1) 福岡県内に居住する方で平成28年4月1日現在、満20歳以上50歳以下の方。  
(昭和40年4月2日～平成8年4月1日生まれの方)
- (2) 全10回を予定しているプログラムに原則として毎回参加できる方。  
但し、8割以上出席の上、欠席された回の内容を録音等で聞いてレポートを提出された場合には出席とみなします。
- (3) 塾生名簿(氏名、所属、居住市町村)の公表、取材、広報のための写真や録音に支障がない方。
- (4) 修了後も男女共同参画推進に努めていただき、その後の活動状況等についての調査や、塾生の交流継続のためのネットワーク形成に積極的に取り組んでいただける方。また修了生名簿の公表、地元市町村・経済団体等への情報提供に支障のない方。
- (5) 次の方は除きます。
  - ① 国・地方公共団体の議員・職員(常勤・非常勤の嘱託職員及び臨時職員を含む)及び学生。
  - ② 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員をいう)又は暴力団(同法第2条第2号に規定する暴力団をいう)。若しくは暴力団員と密接な関係を有する者。

### 応募方法

次の応募書類を、郵送または持参により福岡県男女共同参画センター「あすばる」に提出してください。

- (1) 受講申込書(様式1)
- (2) 所属団体等の長又は勤務先所属長からの応募者推薦書(様式2) ※自薦不可
- (3) 応募動機(様式任意)  
この塾に申し込みと思った動機について、仕事や地域・団体での活動、女性が活躍していく上でご自身が考えている問題意識、塾への期待や今後取組んでみたいことなどを含め、A4用紙に1000字程度にまとめてください。

申込み切

平成28年  
6月10日(金)  
午後5時必着

※応募書類の各様式は、福岡県男女共同参画センター「あすばる」、市町村男女共同参画行政担当課に配布しています。  
また、「あすばる」ホームページ(<http://www.asubaru.or.jp/>)や県ホームページ(<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>)からダウンロード可能です。

一時保育有り 生後6ヶ月～就学前まで一人につき1日300円(要事前予約)

### 塾生 選考方法

- (1) 1次審査……… 応募書類により選考し、6月中旬に郵送にて結果をお知らせします。
- (2) 2次審査……… 次の通り面接審査を行います。詳しくは、1次審査結果通知でお知らせします。

面接日 平成28年6月26日(日) 面接会場 クローバープラザ (福岡県春日市原町3-1-7)

### 受講料

無料(但し、講座参加や課題研究活動のための交通費、懇談会や交流会参加費などは自己負担となります。)

### 応募書類 送付先・ 問合せ先

福岡県男女共同参画センター「あすばる」 事業推進課

〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7 クローバープラザ1F  
TEL:092-584-1261 FAX:092-584-1262 E-mail:info@asubaru.or.jp  
開館時間:午前9時～午後5時 休館日:第4月曜日を除く月曜日(その日が休日の場合は、翌日)



## プログラム Program

内 容	■ 課題研究	解決したい課題をチーム毎に研究していきます。研究計画、調査方法の検討、結果の考察という一連のプロセスを通し、課題解決能力、理論的思考力を高めます。課題研究におけるフィールドリサーチや資料作成などは、下記の日程以外にも自主的に集まったリ、SNSを利用しながら取り組みます。
	■ セミナー、討議	視野を広げるため、幅広い分野の講義を受講します。講義後は、講師と塾生との討議の場を設け、学びを深めます。
	■ 交流会	ネットワークを広げるため、いきいき塾の修了生や地域の女性団体との交流会を開催します。

	10:00	12:00	13:00	15:00	16:30	17:00~	会 場
7/16 土	開講式 塾長講話	自己紹介 オリエンテーション	①男女共同参画(公開講座)		グループワーク	懇談会	クローバー プラザ
8/5 金	②キャリア形成		③リーダーシップ		グループワーク		アクロス福岡
8/27 土	④働き方改革(公開講座)		⑤社会保障と税制(公開講座)		グループワーク		クローバー プラザ
9/24 土	⑥チームビルディング		グループワーク				クローバー プラザ
10/15 土	移動 (貸切バス)	課題研究	⑦地域活性化と女性の活躍		移動 (貸切バス)		糸島市男女共同 参画センター 「ラポール」
11/5 土	課題研究		課題研究			修了生との 交流会	クローバー プラザ
11/26 土	⑧あすばる男女共同参画フォーラム(公開講座)						クローバー プラザ
12/10 土	課題研究		⑨男性学(公開講座)		グループワーク		クローバー プラザ
1/21 土	⑩プレゼンテーション		課題研究				クローバー プラザ
2/25 土	リハーサル		成果報告会		修了式	懇談会	レソラ天神

※上記プログラム以外にも、チーム毎の調査や話し合いなど、自主的な活動があります。



## 修了生の声

あすばるホームページ(<http://www.asubaru.or.jp/>)に四期生までの報告書を掲載しています。

### 四期生

中村 香さん(築上町)  
築上町男女共同参画ネット



**塾**では、「課題を解決する力」「想いを実現する力」を得ることができたと感じています。自宅から片道1時間半の道のりでしたが、家庭や子育て、仕事とのバランスを取りながら挑戦し続ける仲間と共に、刺激し合いながら学ぶことが出来ました。今後は、参加しやすい地域づくりの為に、スピード感を持って実践するつもりです。いきいき塾は「自分に足りない力」を得ることができる場所です。

### 三期生

米永 可菜さん(粕屋町)  
株式会社黒木建設



**い**きいき塾に参加して、講義で貴重なお話を聞くことも、講義後のディスカッションで仲間たちと語り合うことも、普段の生活では味わうことのできない貴重な経験になりました。卒塾後一番変わったことは、自分の役割は何だろうと考え行動できるようになったことです。社員がいきいきと働けるような制度を会社に提案したり、学びの場に積極的に足を運んだりしています。

### 二期生

落石 直子さん(久留米市)  
久留米信愛女学院中学校・高等学校



**育**休中にいきいき塾に応募しました。「たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。」という言葉が好きです。いきいき塾修了前後の私は、「内なる人」が一変したと言っても過言ではありません。家庭人・職業人・地域人としての顔を持ち続けることをモットーとして生活し、交友関係も大きく広がり、毎日充実しています。